

第3回 協働のまちづくりフォーラム

活動事例発表団体 江名子校区まちづくり協議会の質問に対する回答書

【質問】

まち協の防災イベントの効果の町内会活動への反映(単位町内会の取り組みが促進されるような工夫)はどのようにされていますか。

10月防災イベント終了後も、町内三役及び地域住民を対象に研修会を開催しました。

今後も避難所運営ゲーム(HUG)、減災学習会、また女性のための防災研修会等も併せて根気よく繰り返し開催予定です。

年度を越えて継続することで少しずつではありますが住民の方々の防災意識の向上を図っていきたいと思います。

地域住民のごく普通の日常として、防災意識を育てることは、防災対策を進める上での大きな役割を担っていると思います。

費用対効果は？

概算：防災イベント事業費 約620,000円(人件費含まず) 参加者約620名

参加者1名に対し経費約1,000円の支出となります。これが高いのか安いのか分かりません。「大切なものは目には見えない」これが私たちのポリシーです。企業であればコストの削減や時間短縮などのメリット性も考えなければなりません。ですが、まち協地域推進事業に対して費用対効果はとても難しいことと思っています。成果が見えやすい事業と見えにくい事業とがあります。まち協が事業を進める主要目的は、「人づくり」「地域づくり・コミュニティの構築」であり、それらを大きな柱として地道な種蒔き活動であるという気構えで進めており、成果が現れるのが1年先か、10年先か、50年先なのか・・・、あるいは種を蒔いても芽が出て来ないかも知れない、運良く芽が出てくればしめたものというくらいのスタンスで事業を進めています。

単発事業ではなく継続事業として地域に浸透してこそ、はじめて地域の方々の「スマイル度」UPにつながります。このスマイル度はお金で測ることはできません。「心と心」、「人與人」とのパイプ役、「スマイル度UP」のためのまち協事業と思っています。

より良い事業推進のために、事業の見直し「スクラップ&ビルド」はとても重要なことです。

しかし、「費用対効果」というよりも、今、何が一番大事か、何が望ましいのか、地域の求めているニーズは何なのかを常にアンテナを張って見極め、それに沿った事業の展開を図ることが必要なのではないかと思います。

実行委員会のメンバー数を教えてください。

まち協三役・総務部会・町内会三役・危機管理委員・社教部会（社教委員・女性委員・家庭教育委員・子ども会育成委員・体育委員）及び地域ボランティア・高山防災研究会・江名子小学校・江名子小PTA・高山市消防団第5分団・日赤奉仕団等 31名と事務局2名

実行委員会は何度開催しましたか？

全体で開催したのは4回。全体で何回も開催するには時間的にも余裕がなかったので、それ以外で、直接各関係団体等と打ち合わせを行った後に、実行委員会にてご意見やアイデアを頂き、進めてきました。

【意見】

ペットの災害対策についても BOSAI イベントに盛り込んで頂けると良いのでは？と思いました。

今年度のフォーラムの各団体活動紹介等を拝見し、たくさんの方々が工夫されて防災に取り組まれていることを知りました。来年度はもっとたくさんの方々の団体の方々にご協力頂けるよう呼びかけを行っていきます。どうぞよろしくお願い致します。